

授業科目 地域文化学特論Ⅱ	単位 2単位
授業担当者 山中由里子	授業期間 後期
授業の題目と概要 地域文化比較研究の諸相 Aspects of cross-cultural comparison	
授業の内容と計画 <p>人文学研究において、特定の地域、時代、言語について深い知識を持つことはもちろん重要である。しかし、自らのフィールドを相対化する視線がなければ、分析が偏狭になる危険性がある。また、地域・時代・言語間の比較をすることによって、ある文化の特性と、それを担う人々の心性がかえって明らかになる場合もある。</p> <p>本授業では、テキストやモノや現象を読み解く手段としての通文化的思考の有効性について、概念の比較、表象の比較、物質性の比較、感覚・心性の比較などのテーマを設けて講義・討論する。</p>	
使用する参考書、参考論文等 適宜、紹介する	
成績評価基準 <p>授業への出席率、議論への参加度、レポートにより評価する。</p> <p>授業担当者が主宰するワークショップも授業の一環とみなし、そこへの参加も評価の対象とする。</p>	
その他の留意事項 <p>授業は集中講義形式で実施する。時期については後日、指示する。</p>	